

オミクロン株とデルタ株の特徴の比較と対策

● デルタ株に比べて潜伏期間が短い

(特徴)○潜伏期間が約3日(デルタ株は約5日)と感染スピードが極めて速い。

(対策)毎日家族の健康状態に気を配り、体調不良に早く気がつきましょう。

感染に不安がある場合などは無料検査を活用しましょう。

松山市の無料検査
実施場所一覧
(愛媛県ホームページ)



● デルタ株に比べて、重症化リスクは低い、感染力は強い

(特徴)○症状だけでは風邪や花粉症と見分けがつかず、病院受診が遅くなる。

症状(多い順):発熱、咳、全身倦怠感、喉の痛み、頭痛、鼻水・鼻づまり、筋肉痛

○第5波に比べて軽症の患者数が多いが、一定の割合で重症者も発生する。

(対策)少しでも症状があれば、仕事、園、学校などは休み、早めに医療機関を受診しましょう。

ワクチン接種についてご検討ください

ワクチンの効果は、時間が経つと低下します。18歳以上の1、2回目を接種している方は、3回目の接種をご検討ください。

3回目を接種すると、ワクチンの効果が回復し、3回目接種をしていない人より、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。

また令和4年3月から5歳～11歳の小児へのワクチン接種も開始しています。基礎疾患を有する等、重症化するリスクが高い小児には接種が推奨されています。

ワクチンの効果と副反応等のリスクを十分理解し、ワクチンを接種するか、お子さんと一緒にご検討ください。

これだけはやってほしい 3つの 感染対策

① マスク着用の徹底

マスク着用の目的は、飛まつを飛ばさないことです。

5分間の会話で1回分の咳と同じくらいの飛まつ

(約3000個)が飛ぶと言われています。



正しいマスク
の着用を

(鼻と口を覆う)

鼻出しマスク あごマスク



- ・人との接触時は必ずマスクを着用しましょう(不織布マスクを選択)。
- ・家族に体調不良者がいる時は、家庭でもマスクを着用しましょう。
- ・運動時などは無理にマスクをしないようにしましょう。(未就学児の場合は特に注意しましょう)

② こまめに換気

・空気の通り道を確保しましょう。

(2方向から空気の出入れを)

・30分に1回は空気の入替えを
しましょう。



③ こまめな手洗い

・帰宅時や食事前など必要なタイミング
で手を洗いましょう。

・手が洗えない時は
アルコールで消毒しましょう。

